

交渉 NEWS

東日本ユニオン東京地本

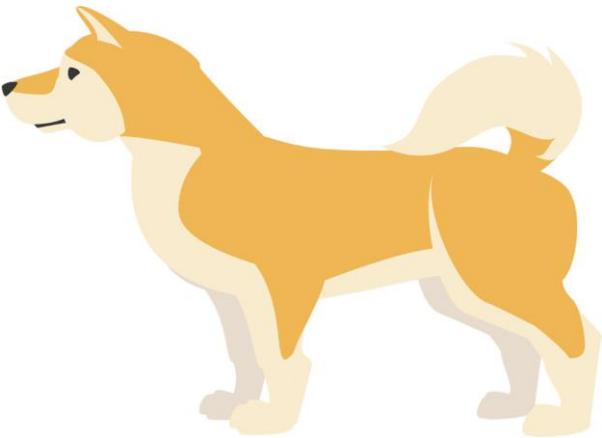
NO, 19

2020年 7月29日

2020年度営業関係施策（その2）提案うける！

2020年度営業関係施策（その2）は、駅周辺再開発工事が進む渋谷駅に関して、駅改良工事に伴い「駅業務体制を見直す」というものです。

具体的には、玉川改札廃止に伴う出改札体制を見直し、施策実施により営業職で9名削減という内容です。



【わたしたちの主な主張】

- ・駅舎工事で利用客の増減はあるか？
- ・玉川改札の現行作業ダイヤからの変更は？
- ・駅周辺再開発工事の進捗状況は？
- ・渋谷駅での「業務委託」は？
- ・寝室や休憩室などの変更は？
- ・今後の工事内容は？
- ・渋谷駅埼京新ホームの評判は？
- ・営業関係施策(その1)は『8/1』という提案だったが、新宿駅自由通路と飯田橋駅新ホーム使用開始は7月に行われている支社の姿勢を改めるべきである。

【支社の主な主張】

- ・駅舎工事における利用客の増減はないものと考えている。
動線が簡素化され利用しやすくなると考えている。
- ・駅周辺再開発工事は2028年まで続く。
- ・改札2テ1日の廃止と出札1テ→1日とする。
- ・工事は概ね予定通り順調に推移している。
- ・業務委託に関しては、常時運転取り扱いがあるか無いかに関わる、時々の判断で提案という形で示すことになると考える。
- ・共有スペースは「働いている方々」が使いやすいように考えていく。
- ・埼京新ホームに関しての評判は「良い」、クレームなどはない。
- ・労働組合からの指摘された内容は受けとめる。

☆新大久保駅「全般委託」について☆

提案対象ではなかった内容ですが、12月1日よりJESSに駅業務全般委託となります。
より良い職場とより良い会社を創造するために
皆さんのチカラをかしてください！

